

グルマーイの言葉についての瞑想

マハーシヴァトリー

イーシャ・サーデサイ

境界なきマントラ

グルマーイがマハーシヴァトリーのサツァングで、初めにマントラをチャンティングする時間を作ったことに対して私たち皆に感謝した時、私はあのなじみ深い、まばゆい光を心に感じました。もちろん、私たちはそれ——グルマーイとマントラをチャンティングすること——が理由でこのユニバーサルホールに集まったのだと私は知っていました。それでも、グルマーイがその行為に対して私たちに「感謝」した時、私は瞬間的に「そうか！」と思いました。これは私たち一人ひとりが(たとえそれが最も簡単で、最も明らかで、最も自然な選択だったとしても)意識的に行った選択だったことに気づいたのです。私たちは、サツァングに参加し、その時間をマントラをチャンティングするという極めて価値ある努力にささげることを「決断した」のです。

グルマーイは、マハーシヴァトリーにマントラをチャンティングすることが吉兆であること、この実践が実を結ぶこと、そしてマントラの甘露がとても心を落ち着かせること——とりわけ世界の炎が激しく燃え上がる時にはなおさらであること——を説明しました。グルマーイがそう言った時の私の反応を鮮やかに覚えています。彼女の言葉の真実がまるで原初のリズムに呼応するかのように私の中で脈打ち、私の心はシヴァ神のダマルに合わせて鼓動しているかのように感じたのです。私は、マントラを一種の鎮静薬として思い描き、私自身の存在だけでなく、この世界全体を癒やすものだと想像しました。私たちが行っていたこと——サンガムとして、サツァングでグルと一緒にチャンティングすること——の重要性をさらに強く認識するようになりました。

また、私はグルマリーの言葉を、私たちが変化を起こす力を持っていることを思い出させるものとして受け止めました。それだけでなく、私たちは変化を起こす「責任」があります。私たちはグルから活性化されたマントラを受け取っています。マントラは音の姿を取った神です。私はこれをグルマリーから最初に学び、後に「シヴァ・パンチャークシャラ・ストートラム」の中でそれについてさらに読みました。以来、それは——神は神聖な音の中に存在するという、その限りなく魅力的な概念、その真実は——私の中でとどまり続けています。

アーディ・シャンカラチャーリヤによるマントラの5音節(ナ・マー・シ・ヴァー・ヤ)についての賛歌、「シヴァ・パンチャークシャラ・ストートラム」で、賢人はシヴァ神がこれらの音節の中に宿ると説いています。マントラは神の化身、神の姿です。さらに、アーディ・シャンカラチャーリヤがシヴァ神——ひいてはマントラ——について述べた描写は、極めて示唆に富んでいます。賢人は、シヴァ神が伝統的に冷却作用を持つガンジス川の水とビャクダンのペーストで清められる様子を描いています。その意味は明らかです。マントラには冷却作用、鎮静作用、癒やしの性質があるということです。人々が戦争を始める言葉もあれば、同様に力強く平和を築く言葉もあります。それがこの言葉です——オーム・ナマー・シヴァーヤ。

私の体験では、このマントラの力についての主張は単なる理論ではありません。何かの空想論ではありません。自然災害や人為的災害の直後にグルマリーが行ったチャンティングやサプタについて、シッダ・ヨーギたちからどれほど多くの話を聞いたかについては、枚挙にいとまがありません。幾度となく、グルマリーのサツァングの後には災害の深刻さが軽減され、時には「未然に防がれ」ました。それは偶然や思いがけない幸運では説明できないほど、頻繁に起こってきました。グルマリーは、シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールにきらめく青いドームのイメージを与えました。マントラをチャンティングすることによって、私たちはこの青いドームの中で作り出されたエネルギーと環境を強くしていると、私は信じています。私たちが育んでいる保護の光は、より濃くなり、より強力になります。そして私たちは、この保護の光で自分自身を包みます。この光は私たちがどこに行こうとも、私たちと共に在るのです。

マントラの光、サツァングの光が目に見えて外側に広がった、私が思い出せるより最近の例の一つは、2020年初頭のことです。当時、オーストラリアは山火事で痛ましい被害を受けていました。グルマーイは、オーストラリアの人々、動物、そして土地に起きている事態に深い悲しみを感じました。そこで2020年1月3日、グルマーイはシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムで、オーストラリアに雨という形の祝福を呼び起こすことを唯一の目的としたサツァングを開催しました。このサツァングで、私たちはマントラ、オーム・ナマー・シヴァーヤをチャンティングしました。私たちはまた、グルマーイが原初の音、オームを歌うよう導く中、雨乞いの楽器を演奏しました。

翌日の1月4日夜、グルマーイはオーストラリアとニュージーランドへ特別にライブ配信したもう一つのサツァングを開催しました。参加者は再びオーストラリアへ祈りと祝福を送る意図を胸に、「シュリー・グル・ギター」を朗唱しました。グルマーイは、サンガムの力について、そして私たちが声を一つにすると、どれほど世界を向上させる力を持つかについて話しました。私たちは吉兆を拡大させる力を持っているのです。それはまさに、この二つのサツァングでシヴァ神を呼び起こした時に——アーディ・グルに懇願した時に、平和を体現するシャーンタに祈った時に、すべての生き物の保護者であるパシュパティに嘆願した時に——起こっていると私が感じたことでした。

それから数時間から数日の後に、オーストラリア各地のシッダ・ヨーギたちがシッダ・ヨーガの道のウェブサイトには報告を寄せました。これまで火災と干ばつに苦しんでいた国内の各地で、雨が本格的に降り始めたということでした。そして火災はその時点では既に広範囲に広がっていて完全に鎮火するにはさらに数週間を要しましたが、グルマーイのサツァングは確かな変化をもたらしました。状況は変わり始めました。想像を絶する喪失に立ち向かう中でさえ、マントラの甘露が、文字通り、世界の炎を静めたのです。

この例が示すように、マントラの力は広く遠く——実際、私たちが想像できるよりはるかに広く遠くまで——届きます。マントラを繰り返す、あるいはその恩恵を体験するには、シッダ・ヨーギであることさえ必要ありません。多くの人が——シッダ・ヨ

一ギの友人であろうと、その家族であろうと、あるいは単に他の形でマントラに出会う幸運に恵まれた人であろうと——オーム・ナマー・シヴァーヤを繰り返すことで慰めを見いだしてきました。

あなたがマントラの力に関する自分自身の体験をどう思い出しているかを知りたいです。マントラの力について聞いた話を思い出していますか？ あなた自身のマントラの体験を書き留めていますか？ マントラについて他の人と共有していますか？ 彼らにマントラ・ジャパの実践を始めるよう勧めていますか？



© 2026 SYDA Foundation®. 著作権所有。